



新型コロナウイルス感染症 (COVID-19)について

2020.7.1 鹿児島生協病院・谷山生協クリニック

1. コロナウイルスはどのようなウイルスですか。

発熱、上気道症状を引き起こす主に感冒の原因となるウイルスです。一方で SARS や MERS といった重症化傾向のある疾患の原因となるウイルス型もあります。新型コロナウイルス感染症 (COVID-19 といいます) は SARS や MERS より病原性は低いと言われています。

2. 感染経路や潜伏期間について。

感染者の咳、くしゃみ、つば、鼻水を通じてヒトからヒトへ感染します (飛沫感染)。また感染者が汚染された手で物を触るとその物にウイルスがつきます。非感染者が汚染された物を触ると手にウイルスが付着し、その手で口や目などの粘膜を触ると感染します (接触感染)。一人の感染者から感染する人数は約 2 人でインフルエンザと同じ程度の感染力です。潜伏期は約 14 日間で多くは 5-6 日で発症しますが感染したすべての方が発症するわけではありません。症状のない期間も他の方へ感染する可能性があります。症状がある時期の感染力のほうが強いと言われています。

3. 発症した場合の症状について。

発熱と咳・鼻汁・咽頭痛といった感冒症状がみられます。約 80% の方は軽い感冒症状が約 7 日間続き自然と治りますが、肺炎を発症し症状が長期化する方や入院治療が必要となる方もいます。肺炎を発症される方は持病をお持ちの方やご年配の方に多く、症状がでてから 7 日目以降に重篤な症状になることが多いと言われています。

★裏面に厚生労働省作成の「相談・受診の目安」を添付しております。当面はこの方針に従ってください。「県外・海外・クラスター発生店舗へ行ったことはないけれども、自分は COVID-19 に感染したのではないか」とご心配な場合も、まずは「帰国者・接触者相談センター」にご相談いただきますようお願い致します。

「帰国者・接触者相談センター」

南部保健センター (当院最寄り) : 099-268-2315

休日・夜間 : 099-224-1111



新型コロナウイルス感染症についての相談・受診の目安
厚生労働省 2020.2.17

1. 相談・受診の前に心がけていただきたいこと

- 発熱等の風邪症状が見られるときは、学校や会社を休み外出を控える。
- 発熱等の風邪症状が見られたら、毎日、体温を測定して記録しておく。

2. 帰国者・接触者相談センターに御相談いただく目安

- 以下のいずれかに該当する方は、帰国者・接触者相談センターに御相談ください。
 - ・ 風邪の症状や37.5度以上の発熱が4日以上続く方（解熱剤を飲み続けなければならない方も同様です。）

- ・ 強いだるさ(倦怠感)や息苦しさ(呼吸困難)がある方

○なお、以下のような方は重症化しやすいため、この状態が2日程度続く場合には、帰国者接触者相談センターに御相談ください。

- ・ 高齢者
- ・ 糖尿病、心不全、呼吸器疾患(COPD 等)の基礎疾患がある方や透析を受けている方
- ・ 免疫抑制剤や抗がん剤等を用いている方
(妊婦の方へ)

妊婦の方については、念のため、重症化しやすい方と同様に、早めに帰国者・接触者相談センターに御相談ください。

(お子様をお持ちの方へ)

小児については、現時点で重症化しやすいとの報告はなく、新型コロナウイルス感染症については、目安どおりの対応をお願いします。

○なお、現時点では新型コロナウイルス感染症以外の病気の方が圧倒的に多い状況であり、インフルエンザ等の心配があるときには、通常と同様に、かかりつけ医等に御相談ください。

3. 相談後、医療機関にかかるときのお願い

○帰国者・接触者相談センターから受診を勧められた医療機関を受診してください。複数の医療機関を受診することはお控えください。

○ 医療機関を受診する際にはマスクを着用するほか、手洗いや咳エチケット(咳やくしゃみをする際に、マスクやティッシュ、ハンカチ、袖を使って、口や鼻をおさえる)の徹底をお願いします。

